

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「春草かるた」を活用した地域の魅力再発見事業
事業主体 (連絡先)	春草かるた制作実行委員会 〒395-0015 飯田市江戸町2-292-8 橋北公民館 ☎0265-24-0310
事業区分	(8)その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	750,000 円 (うち支援金:600,000円)

事業内容

郷土の生んだ日本画家菱田春草の作品と生き様について、地域の人々に楽しみながら分かり易く学んでいただき、改めて郷土に誇りと愛着を持ってもらうため、春草かるた300部を制作した。

- ・かるたを活用して春草語り部養成講座を開催し15名を認証した。(9/21-23)
- ・かるた大会を開催した。(10月15日、橋北公民館、13名参加)
- ・かるたの絵札原画作者を囲む集いを開催した。(11月5日、橋北公民館、18名)
- ・浜井場小学校(80部)、東中学校(6部)にかるたを進呈し学校や家庭で活用した。
- ・二十歳の集い参加者(82名)にかるたを進呈し、地域学習の用に供するとともに、職場、家庭、友人等との間で活用するよう促した。
- ・事務局である橋北公民館に貸出用かるたを備えて住民の活用を促した。
- ・飯田市民館長会を通じて、かるたの活用方法を周知し、各公民館において活用された。



【語り部養成講座の野外実習】

【目標・ねらい】

- ①春草語り部を養成し、住民等に知識の普及を図る
- ②かるたを通じて地域住民が春草を知り、郷土に誇りと愛着を持つ
- ③地域住民がかるたに親しみを持つ
- ④次世代に春草の偉業を伝える

事業効果

- ①認証した語り部が、小中学校教員や地域の人々を対象に春草の作品や生き様について説明し、春草への関心を高めた。(10月14日浜井場小50名、10月15日春草公園112名、11月11・14・30日橋北公民館他72名、1月4日、1月27日橋北公民館31名)
- ②かるた大会を通じて参加者は春草への親しみを増した。参加者にはかるたを進呈し、友人や家族で活用するよう促し普及を図った。(参加者13名)
- ③原画の原作者に接することにより参加者のかるたへの愛着が生まれた。参加者にはかるたを進呈し、友人や家族で活用するよう促し普及を図った。(参加者18名)
- ④小学校や中学校の教育現場や家庭でのかるたの活用が図られて春草への関心が高まった。(浜井場小学校238名、東中学校147名)
- ⑤二十歳の集い参加者の地域学習の教材としてかるたが活用されるとともに、参加者にかるたを進呈し、友人や家庭での活用を促し普及を図った。(1月8日飯田市民館参加者 本人82名、保護者76名、12月14日事前学習25名)
- ⑥事務局である橋北公民館に貸出用かるたを備え、いつでも、どこでも、誰もがかるたを活用できる体制を整えることができた。(1月10・18日、2月1日利用者37名)
- ⑦公民館長会を通じて活用方法を周知し、飯田市内の公民館においてかるたの活用がなされ関心が高まった。(利用者211名)

※自己評価【 A 】

【理由】

目標の10名を上回る15名の語り部を養成でき、彼らが地域住民に春草の偉業を伝える機会を設けることができた。また、かるた大会や絵札原画作者を囲む集いを通じて、住民がかるたに親しみ学ぶ機会ができた。児童生徒と二十歳の集い参加者にかるたを進呈し、春草の偉業を次世代に伝えることができた。市内の各公民館での活用を図るとともに、事務局に貸出用かるたを備え、普及体制を整えることができた。これらの取組により目標の1000名を上回る1148名がかるたを通じて春草への関心を高めた。

今後の取り組み

春草語り部を中心として、かるたを活用して、地域の方々に春草の作品や生き様について普及啓発を行う。また、飯田市美術博物館の協力を得ながら、様々な機会を通じて語り部の資質の向上に努めていく。

地元の浜井場小学校、東中学校とは、今後とも連携し、かるたを活用して児童生徒が春草に親しみ、学ぶことができる機会を設けていく。

事務局である橋北公民館に備えた貸出用かるたを活用し、多くの方々に楽しみながら春草について学んでいただく。